

校長挨拶

本校のホームページをご覧ください、誠にありがとうございます。

私は平成29(2017)年4月1日に着任し、今年度で3年目を迎える榎木 伸司（にれき しんじ）と申します。本校は白鳥の飛来地として有名なクッチャロ湖をはじめ、ベニヤ原生花園など自然豊かな環境の中にあり、生徒は地域にある豊かな教育資源を活用した活動に伸び伸びと取り組んでおります。

今年度は36名の新入生を迎え、全校生徒132名でスタートすることとなりました。新入生が5年ぶりに40名を割り、1間口となってしまいましたが、本校がこれまで継続して取り組んできた地域連携を軸にしたキャリア教育を探究活動の中心に据え、今年度は職業類型加配と小規模校加配の2名の増員を賜り、前年度と大きく変わらぬ体制を敷くことができ、活気に溢れています。

本校は昭和26年の開校以来、69年の歴史を持つ宗谷管内の伝統ある高校の1つであり、次年度は創立70周年を迎えます。今後は70周年記念事業協賛会を立ち上げ、その実施に向けた準備を少しずつ進めていきます。成功裡に終わるよう同窓会、PTA、地域の皆様方のご支援ご協力をお願いいたします。

本校は昭和39年に制定した「生徒指標」として、次の3点を掲げており、

1. 謙虚で思慮深き人間となれ
2. 志を立て、困難に打ち克つ人間となれ
3. 健康で、人のために尽くす人間となれ

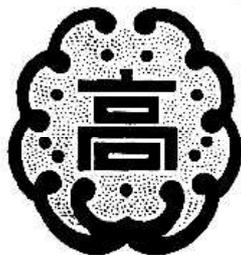
生徒も教職員もその達成に向け、授業はもとより、部活動、学校行事、キャリア教育、自然観察学習等に打ち込む日々を送っています。昨年度は文部科学省より、「人権教育研究推進事業」の指定を受け、全道人権教育研究協議会への参加や生徒向けの教育講演会を3回開催するなど、生徒の人間関係構築のヒントや生き方に係る貴重な話をいただくことができました。また同時に、教職員の資質能力向上に資する取組も進め、外部講師による校内研修会を開催する他、日々研鑽に努める環境を整備し、実践力向上にも励んでおります。

校長としましては「地域に支えられ、地域とともに歩む学校」を合言葉に、生徒の可能性を伸ばし、成長を支援する体制強化を図るとともに、ふるさと南宗谷に地域貢献できる人材の育成を経営方針の柱に掲げております。

目標達成に向かって努力を継続する生徒、その支援に向けて常に研鑽に励む教職員、そしてそれを温かく、見守り続けている保護者や地域の方々としっかりと連携を取って、今後も信頼される学校づくりに邁進していきます。

自然豊かなふるさとを愛する心を育み、生徒自らが積極的に学び、成長していけるよう、教職員一同一丸となって教育活動に取り組んでいく所存です。

本校のHPにつきましては、2年前の着任時から内容の充実・改善を図り、生徒の表情や様子がよくわかるよう積極的に学校行事や部活動等での動きを掲載しており、今後も旬な話題をタイムリーに掲載していく予定であります。



お陰を持ちまして、この2年間でのアクセス数は、220,000件を越えることとなり、本校の教育活動への理解は、着実に浸透している状況です。

今年度も情報発信は学校理解の肝と捉え、本校のPR活動に尽力していきますので、今後とも変わらぬご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

平成31年4月8日
北海道浜頓別高等学校長 榎木 伸司